

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 広島市立吉島小学校

① 学習指導案

プログラム	No.8 「わたしたちのまちに言葉の贈りもの」
単元名 (全 時間)	地域をつなぐProject2023(全70時間)
学習のねらい	1 自分たちの地域を調べていく中で、地形や建築物、商業施設などの特徴を知り、まちを愛する人々の思いから、地域愛を育み、それを周囲へ発信しようとする態度を育てる。 2 学習を通して主体的で探究的に学ぶ態度を養う。
学習内容	1 フィールドワークの計画を立てる。 2 フィールドワーク(テーマに沿った写真撮影)実施。 3 まちの魅力再発見！写真展覧会を開く。(ここまでがこのプロジェクトの主な取組) 4 もっと調べてみたいことを決める。 5 調べてみたいことやもの、場所について調べ、課題をもつ。 6 課題を解決するための取組。 7 まとめ(発表)
参考資料 準備品 実施場所等	地域の人が作成したまちの冊子 デジタルカメラ 地図 ワークシート たんけんバッグ 吉島のまち

学習の流れ






時間	学習活動	教師の指導	評価
1	1 吉島の特徴は何か、考える。	・現在の児童の実態を知ったうえで、次時への活動につながるようにする。	
1	2 教師が撮影した写真が町のどこか、考える。		
4	3 自分たちも吉島を廻ることで、吉島の魅力を再発見する取組を知る。	・吉島の魅力をみつけて展覧会を行うことを伝える。	
4	4 フィールドワークをする中で、魅力的な場所を写真におさめる。	・みんなに知ってもらいたい特徴的な場所を予めリサーチしておき、写真を撮りに行くように伝える	
			町の魅力をみつけようとしているか


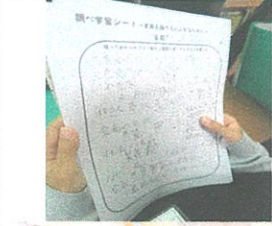

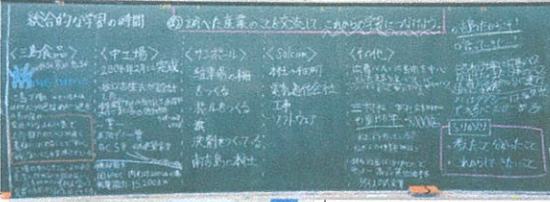


10	5 とってきた写真を使って、展覧会を開く。	・展覧会の方法を自分たちで企画させる。	魅力的な展覧会となるような工夫がみられるか。
25	6 自分たちが写真の中から選んだ場所でとくに魅力的だと思うもの、特徴的だと思うものについて調べる。	・ここからは探究的な活動となるよう、子供の主体性を尊重して指導する。	主体的な活動ができるかどうか
10	7 その場所と地域をつなぐために自分たちは何ができるか考える。	・その場所を調べるのはなぜか、また、考えた取組が何のために、誰のための取組が、子供たちの中でしっかりその理由を持たせたうえで活動させる。	
10	8 考えたことを実行する。		
5	9 実行して考えたり分かたりしたことを伝える会を開く。	・地域とのつながりを考えたうえで、地域の人々にも伝えられるようにしたい。	

<留意点>

② 事業実施報告書詳細

学校名 広島市立吉島小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
10	教室 ↓ 吉島の まち	自分たちの住む吉島のまちについて「知っていること」や「おすすめしたい場所」などを全体で交流を行い、「普段見えていない場所や風景はないか。」確認するために、まち歩きを行った。その際に「気になった場所」や「おすすめしたい場所」についてタブレットを活用して写真におさめた。	 	(普段、目にしていた風景が少し違うものに見えた。)(よく分からない建物がいっぱいあった。)(まち歩きをしていると、いろいろな人があいさつしてくれてうれしかった。)(工場がいっぱいあったけど、何を作っているのか分からなかった。)(夜の風景にしたいので、持って帰って撮ってきてもいいですか。)
5	教室	まち歩きを行って初めての振り返りを行った後、撮ってきたたくさんの写真の中から「お気に入りの場所」を写した写真を1枚選び、タブレット端末を活用して提出した。 提出された写真を印刷しワークシートに貼った後、その写真の場所を「おすすめしたい理由」を書き込んだ。	 	(たくさん撮ってきたから、選べないよ。)(自分の家の近くにしよう。)(三島食品のふりかけが美味しいうから三島食品が写っているこれにしよう。)(中工場にある公園にしよう。)(毎日通っている通学路にしようかな。)
	廊下	出来上がったワークシートを廊下に掲示し、学級全体で鑑賞会を行った。		(この場所にしたんだ。)(私もこの場所にしたよ。)(三島食品の前にあるマンホールって、世界に一つしかない特別

				<p>なものなんだって。)</p> <p>(このまちにあるもの全部、吉島にしかないものだね。)(5年生はどこを選んだんだろう。6年生女子より)</p>
10	教室	<p>鑑賞会を終えて振り返りを行うと、公園や通学路を写している人や、三島食品をはじめとする産業を写している人も多いことに気が付き、吉島のまちにある産業に興味・関心が生まれた。</p> <p>そして、吉島のまちにある産業を調べることになった。</p>	  	<p>(三島食品を写している人が多くいた。)(中工場を写している人もたくさんいたよ。)</p> <p>(いろいろな産業があったね。)</p> <p>(吉島のまちにある産業を調べてみたいね。)</p>
15	教室	<p>タブレットを活用し、吉島のまちにあるいろいろな産業を調べていく中で、三島食品のことを詳しく調べることになった。詳しく調べていくと、三島食品のよさがたくさんあることを知り、「吉島のまちにある産業の一つ、三島食品のために自分たちに何かできることはないか考えることになった。</p>	 	<p>(三島食品にはこんなによいところがあるのに、あまり知られていないのが悔しい。)(もっとたくさんの人に知ってもらいたい。)</p> <p>(三島食品のために自分たちに何かできることはないだろうか。)</p>

20	教室	<p>できることを考えた結果、「三島食品をよりたくさんの方に知ってもらうためにできることを三島食品の方にプレゼンする。」こととなった。</p> <p>プレゼンを行ったことで見えてきた課題やさらにやっていきたいことなどについて話し合った。</p>		<p>(自分たちの思いが伝わって良かった。)(少しでも、三島食品の良さが伝わればいいな。)</p> <p>(他の産業のことも調べて、よさを伝えていきたいな。)(吉島のまちにある産業のことを他の学年にも伝えていきたいな。)</p>
10	教室	<p>1年間を通して、吉島のまちのこと(産業)を調べてきて分かったことやこれからも学習をつなげてほしいことについてまとめ、4年生に伝える会を開いた。</p>		<p>(もっと吉島のまちのことを調べたいけれど、時間が足りないから、4年生に引き継いでもらおう。)</p> <p>(どんな風にまとめたら、4年生に伝わるだろう。)</p>

③ 実施内容について

<p>(1)実施にあたり工夫した点</p> <p>地域のヒト・モノ・コトとの触れ合いを多く取り入れ、触れ合う機会を設けることで、地域に対する興味・関心を高めていきたいと考えた。そこで、地域人材(今年度はおもに三島食品さんとガードボランティアさん)を活用した。また、実際にまち歩きを行うことや地域行事に参加することで、自分の目で見て、耳で聞くなど実体験から見えてきたことを感じたことを中心に学習を展開していくことを心掛けた。</p>
<p>(2)実施にあたり苦勞した点</p> <p>吉島のまちに対する関心が低い児童の興味・関心をいかに引き出せるのか。教師主導ではなく、児童主体で学習を進めていくための手立てはないか考えたこと。</p> <p>教師側の思いとしては、自分たちの住むまちをよりよくしていきたい(未来)という思いをもとに学習を展開していきたいが、子ども達にとって大切なのは現在のまちである。この教師と児童のギャップを埋めていくために必要な手立ては何かなど。</p>

(3) 児童の反応

学習を始めるにあたり、学年の実態として、自分たちの住むまち吉島に関しての関心はそこまで高くなかった。学習を進めていくごとに、地域のヒト・モノ・コトに触れる機会が増え、少しずつ変化が見られるようになった。地域で行われる行事への参加率は、学習開始時は数名の児童が参加している状況であったが、地域への関心が高まると同時に参加する人数も増えていき、地域への関心が高まったと感じられる。

また、社会科等の他教科の学習を行う際にも児童の口から「一つ一つの木に意味があることが分かった。吉島のまちにある木も大切にしていかなないといけないね。」や「ゴミも公害に含まれるんだ。そういえば、緑のジャンパーを着ている人が時々、ゴミ拾いをしてくれていたよ。出会ったらありがとうございますと言いたいな。」などの発言が聞かれるようになった。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

学習を始めるにあたり、吉島という地域がどのような地域なのか教員が知っておかないといけないということで、事前にまち歩きや調査活動を行ってみると児童と同様に、吉島のまちは工業地域であることを知ることができた。

学習展開として、教師主導ではなく児童が主体となるよう指導を進めていく意識を高めることができた。児童が主体となって考え、展開していくことで、教師には思いつかなかった発言や学習活動もあり、教師も新たな発見もあり、良い経験となった。

(5) 今後の課題と取り組み(児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等)

学年全体として、地域への関心の高まり、地域参画意識も感じられるようになってきたが、高まりを感じられない児童がまだいるのも現状である。地域に対する興味・関心の高まりを実感できていない児童に対しては今回の学習展開が適当ではなかったのかもしれない。そういった児童に対する個別の支援や学習展開の見直しなどを計画的に行う必要がある。また、地域人材の活用(今回であれば、三島食品さんやガードボランティアさんなど)をより多く行うことで、児童と地域がつながるきっかけになっていくと考えている。

特に、地域への興味・関心は5学年だけで行ってもなかなか効果は得られない。小学校生活全体を通して、計画的に学習を進めていくことで、児童一人一人の地域に対する興味・関心の高まりを期待できるのではと考えている。